

展示

観賞温室第2室 企画展示

- 4月5日(日)まで 「チューリップ展」
- 4月8日(水)～5月24日(日) 「シャクナゲ・ツツジ展」
- 5月27日(水)～6月28日(日) 「絶滅危惧植物展」

観賞温室第3室 住宅内展示

- 4月19日(日)まで 「チューリップ花絵原画展」
- 4月21日(火)～5月6日(水) 「丸山フキ花のちぎり絵」

特別展示

- 4月3日(金)～5日(日) 「春の大つばき展」
新潟県つばき協会・県立植物園共催 会場:花と緑の情報センター
- 4月29日(水)～5月6日(水) 「えちご長岡山野草展」
出展:小国山野草会 会場:観賞温室第3室

イベント

春の植物園まつり●5月4日(祝・月)、5日(祝・火)

- ・バックヤードツアー
- ・植物素材を使った体験教室
- ・チューリップ掘り取り体験
- ・食のテント など
- ・ミラクルフルーツ試食会
- ・ツリークライミング体験会
- ・園芸市

にいつ花ふるフェスタ●6月7日(日)

- ・にいつ食の陣当日座
- ・花ふるロールケーキ作り
- ・音楽イベント など

わくわく植物探検ツアー

案内員が熱帯植物ドームの植物をわかりやすくご説明します。解説付きの見学は満足度倍増!ツアーに参加された方には記念写真のプレゼントもあります。

- ①10:40～ ②14:40～
- (土・日・祝日は13:40からも実施)
- ※当日温室入館券売場にて受付(定員制)

また、ご自分のペースで解説付きの見学をお楽しみになりたい方には、携帯音楽プレーヤーiPodを使った展示解説「seedPod(シードポッド)」もご用意しています。温室の入館券売場でプレーヤーを貸し出ししていますので、ぜひ一度お試しください。(無料・身分証明書必要)

花と緑の相談コーナー

専門相談員の片山芳宣先生がわかりやすくお答えします。

- ・相談受付日:毎週水曜、日曜
- ・ご相談は直接相談コーナーへ。(観賞温室内無料エリア)
- ・電話でも受け付けています。専用電話 0250-24-6437

●観賞温室利用案内

開館/9:30～16:30(入館締切16:00)
入館料/大人600円、シルバー(65歳以上)500円、小中学生100円
※土日祝日は小中学生の入館料無料です。

●観賞温室開館カレンダー(●休館日)

4							5							6						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
●	●	●	1	2	3	4	●	●	●	●	●	1	2	●	1	2	3	4	5	6
5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13
12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20
19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27
26	27	28	29	30	●	●	24	25	26	27	28	29	30	28	29	30	●	●	●	●

●交通アクセス ※駐車場無料(350台収容)

高速道路/磐越自動車道新津ICから国道403号三条・加茂方面へ約15分
 一般道路/(新潟方面から)国道49号茅野山ICから国道403号経由約20分
 J R/信越線古津駅から徒歩約20分
 バス/区バス:新津駅東口から「うららこすど」行き「美術館・植物園前」下車徒歩約1分
 新潟交通:新津駅東口から「矢代田」経由白根・潟東営業所行き「新津美術館入口」下車徒歩約10分

教室

花と緑の教室 会場(または集合場所):花と緑の情報センター

※要申込(開催日の1カ月前から電話受付)

- 4月5日(日) 10:00～12:00 ●「ツバキ 花後の管理」
講師:石井たき(新潟県つばき協会) 定員:30名 参加費:無料
- 4月16日(木) 10:00～11:30 ●「雑草観察会①」
講師:田中良明(県立植物園職員) 定員:15名 参加費:無料
- 4月26日(日) 10:00～12:00 ●「シャクナゲ・ツツジ鑑賞会」
講師:倉重祐二(県立植物園副園長) 定員:15名 参加費:無料(要入館券)
- 5月6日(水) 10:00～11:30 ●「ボタン鑑賞会」
講師:田中良明(県立植物園職員) 定員:15名 参加費:無料
- 5月9日(土) 10:00～11:30 ●「母の日アレンジメント」
講師:未定 定員:20名 参加費:有料
- 5月17日(日) 10:00～11:30 ●「シリーズ『家庭菜園』春の作業・苗選び」
講師:田中良明(県立植物園職員) 定員:20名 参加費:無料
- 5月24日(日) 10:00～11:30 ●「バラ① 春夏の管理」
講師:佐藤七郎(新潟ばら会副会長) 定員:30名 参加費:無料
- 5月30日(土) 10:00～11:30 ●「チューリップ掘り取り体験」
講師:永井明子(県立植物園職員) 定員:親子20組 参加費:無料
- 5月31日(日) 10:00～11:30 ●「クレマチス」
講師:鈴木光一(日本クレマチス協会会員) 定員:15名 参加費:無料
- 6月11日(木) 10:00～11:30 ●「雑草観察会②」
講師:県立植物園職員 定員:15名 参加費:無料
- 6月14日(日) 10:00～11:30 ●「シリーズ『家庭菜園』夏野菜の管理・誘引や芽かき」
講師:田中良明(県立植物園職員) 定員:20名 参加費:無料
- 6月21日(日) 10:00～11:30 ●「マツの剪定」
講師:田中良明(県立植物園職員) 定員:10名 参加費:無料
- 6月25日(木) 10:00～11:30 ●「マツの剪定」
講師:田中良明(県立植物園職員) 定員:10名 参加費:無料
- 6月28日(日) 10:00～11:30 ●「山野草の寄せ植え」
講師:片岡充(片岡笑幸園) 定員:20名 参加費:無料

図書のご案内 ※温室入館券売場にて販売しています。



「里山の植物」
2,000円
新津丘陵に植生する植物の大図鑑。約800種の豊富な里山の植物の魅力を再発見。



「ようこそ緑の夢王国 新潟県立植物園」
1,200円
新潟日報夕刊に連載された内容をまとめた一冊。植物に親しむきっかけに、植物園観賞のお供にぜひいかがですか。



新潟県立植物園

〒956-0845 新潟市秋葉区金津186番地
 TEL.0250-24-6465 FAX.0250-24-6410
 Eメール botanical@greenery-niigata.or.jp
 ホームページ http://botanical.greenery-niigata.or.jp/
 指定管理者 財団法人 新潟県都市緑花センター





企画展示

シャクナゲ・ツツジ展

4/8(水) - 5/24(日)

日本の在来種でもあり、現在では身近な存在となったシャクナゲとツツジですが、それぞれが持つ性質によって、現在に至るまでの人との関わり方が全く異なりました。シャクナゲは、ヨーロッパでは無くてはならない庭園を構成する樹木ですが、現在の日本庭園でもあまり利用されていませんし、古い庭園ではほとんど見ることはありません。今回の展示では、どうしてそうなったのかを謎解き形式で展開しています。また、シャクナゲとツツジをメインとした和風庭園と洋風庭園をつくり、額縁効果を用いて、庭園が持ついくつもの表情を楽しんでいただけます。本物の額縁を使って皆様からベストポジションで観賞していただいたり、携帯電話のカメラ機能を使って撮影していただくなどの企画も用意しています。

シャクナゲとツツジの美しい庭園が見せるいくつもの表情をお楽しみください。



絶滅危惧植物展

5/27(水) - 6/28(日)

企画展示

私達の暮らしを見渡すと、様々なところに植物が使われていることに気がつきます。人間の生活に必要な不可欠な衣食住や薬など、植物が原料となっているものは数多くあります。

地球上に生命が誕生して以来、生物は環境に適応しながら多様化し、互いに支え合い、長い年月をかけて現在の姿をつくりあげてきました。しかし、現在はそのバランスが崩れ、非常に速さで生物が絶滅している状況にあります。様々な原因が考えられますが、一度失った生物を人間の手でよみがえらせることはできないので、いかに失わないようにするかがこれからの課題と言えるでしょう。

今回の展示では、国内で絶滅の危機に瀕している植物をとりあげ、それらを取り巻く現状や保全の取り組みなどを紹介します。普段は聞く機会の少ない話題ですが、この展示が多くの人に意識してもらおうきっかけとなればと思っています。

身近な中にも、遠くない将来に過去のものになってしまう植物もあるかもしれません。



過去に開催された絶滅危惧植物展の様子

トラフアナナス *Vriesea splendens*



オオビカクシダモドキ
Platynerium coronarium



ボルネオ島の雲霧林 木にたくさんの植物が着生する



サルオガセモドキ
Tillandsia usneoides



ファレノプシス・リュエデマンニアナ
Phalaenopsis lueddemanniana

ちやくせいしよくぶつ 着生植物

温室

樹木や岩などに固着して生活する植物は着生植物と呼ばれ、熱帯多雨林や雲霧林に生育するラン科、パイナップル科、シダ植物などに多く見られます。寄生植物のように着生した植物から栄養を得ることはありませんが、地面から高い位置で生活することができるため、林床の植物にくらべ光を多く浴びることができ、生育に有利です。しかし、樹木や岩には土壌がなく水分や栄養分が不足するため、それらを得るためのさまざまな工夫が見られます。

シダ植物のオオビカクシダモドキやパイナップル科のトラフアナナスは、上向きに開いた葉を持ち、雨や落ちてきた葉を受け止めることができるようになっています。葉の基部には根があり、受け止めた水や葉が分解されてできた養分を吸収します。パイナップル科のサルオガセモドキは成熟した個体は根を持ちませんが、葉が灰色で糸状の鱗片毛に覆われているため、その毛で空気中の水分をとらえて吸収します。また、ラン科のファレノプシス・リュエデマンニアナの根は、スポンジ状の組織をもち水分をうまく吸収することができます。

(久原泰雅)

ボタン'島錦' 太陽の枝変わり
太陽は新潟の長尾次太郎初代作出



ボタン'金華殿'
新潟・長尾次太郎作出品種。

ボタン'リナウン' (Renown)
アメリカで作出された品種。

ボタン'紫雲殿' 江川一栄作出の品種。



ボタン園
200品種1,300株が咲き誇る



園内 ウォッチング

園地

ゴールデンウィークが終わる頃、熱帯ドームの周辺や、宿根草花壇の奥ではボタンが花盛りとなります。ボタンの生産は、現在、島根県が大部分を占めていますが、新潟市秋葉区や五泉市付近は、明治後期～昭和40年頃までボタンの生産が盛んに行われ、関西（大阪府池田市・兵庫県宝塚市）と島根県の大根島とならんで三大生産地とされていました。この時期には新潟でも数多くの品種が作り出されましたが、現在絶滅してしまったものも少なくありません。

新潟で作出された貴重なボタンは、園地西側のボタン園を中心に64品種が植栽されています。また、熱帯ドーム側のボタン園には、新潟市秋葉区の木楽園園主江川一栄さんより寄贈された182品種1,350株のボタンが植栽されています。江川が作出した品種をはじめとして、明治時代の古い品種、中国、アメリカ、フランスといった海外で作出された品種など、質、量共に全国でも第一級のコレクションを誇ります。

(橋本 永)

NEWS 1

循環型社会に向けて—ペレット燃料

1月31日(土)にWPPC木質ペレット推進協議会主催の「木質バイオマスセミナー」が、当園の花と緑の情報センターで行われました。同協議会は、現在は手入れがされず、荒れてきている新津丘陵の里山で下草刈りや間伐などを行い、その際に出た木材などを加工し、化石燃料の代替としてストーブの燃料に使用するという取り組みを行っています。そして、秋葉区の地域内資源の循環利用システムの構築を目指しています。

里山の管理をすることで、以前生育していた草花が再び生えはじめたなどの報告事例があり、里山の管理は生物の多様性を保つためにも欠かせないもののひとつです。

この循環システムがうまく軌道に乗れば、環境に負荷が少なく、かつ、里山の多様性が保たれるのではないのでしょうか。

(橋本 永)

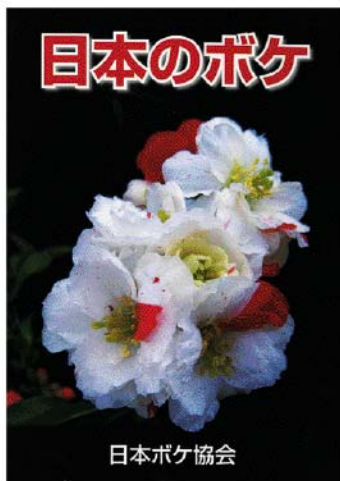
新津丘陵での活動状況



雑材を原料としたペレット



ペレットストーブ



日本ボケ協会



出版されたボケと雪割草の本

「日本のボケ」の購入は、日本ボケ協会の加藤さんまでお申込ください。
電話090-3131-5123
Email info@nbk.info-niigata.net

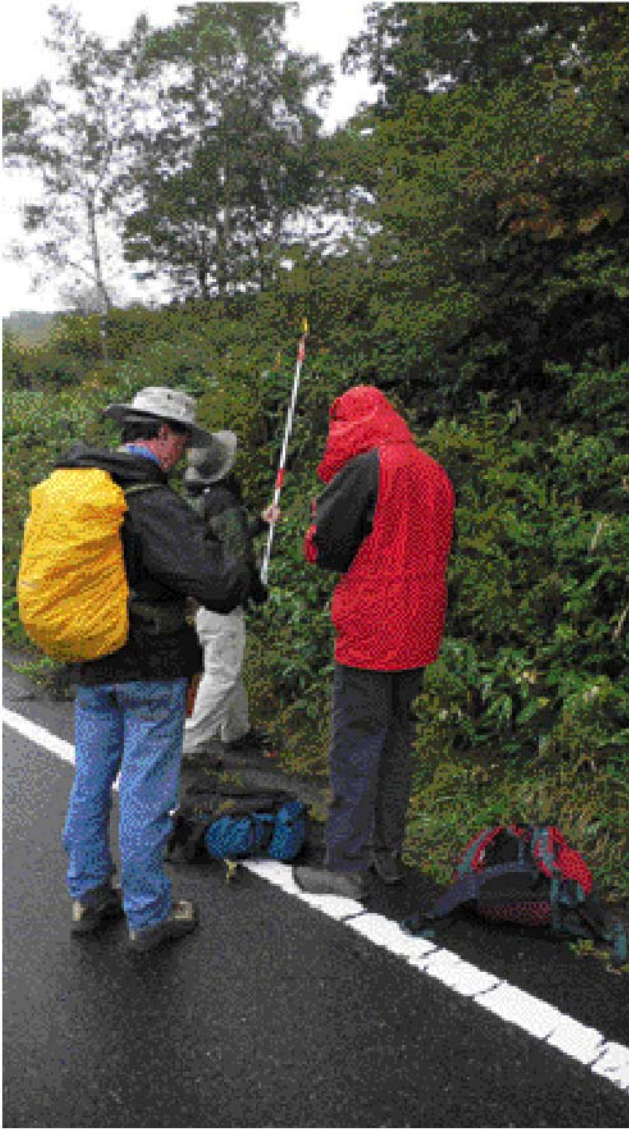
NEWS 2

ボケと雪割草

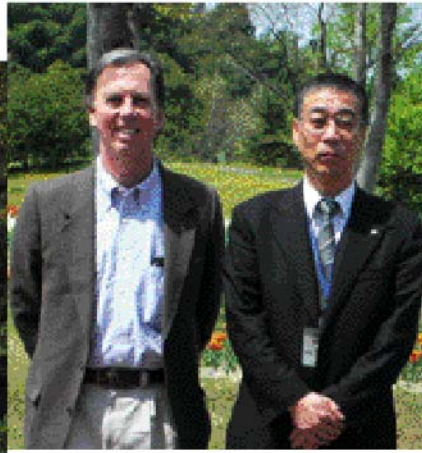
新潟のボケ生産は、全国の流通量の90%以上を占める本県を代表する花木です。また、平成19年には新潟市秋葉区に日本ボケ公園がオープンし、これまでに日本ボケ協会が収集、保存してきた約200品種が植栽されています。今年2月には同協会から「日本のボケ」が出版されました。当園でもこの事業に協力し、これまでの園芸文化史の調査の成果をもとに「ボケの園芸史」を寄稿しています。

また、本県でも人気が高い雪割草の本が出版されました(岩渕公一著・新潟日報事業社)。昨年、新潟県の草花に雪割草が指定されたこともあり、今年の展示会は大変盛況だったようです。本書にも当園で進めている保全や栽培史についての記事を寄稿しています。是非ご一読ください。

(倉重祐二)



クオリーヒル植物園との合同調査



マクナマラ園長と当園、笠井園長

NEWS 3

クオリーヒル植物園との協力関係

昨年4月、アメリカのクオリーヒル植物園のマクナマラ園長が来園し、当園との保全に関する協定について話し合いが行われました。その後、打合せが続けられ、絶滅危惧植物を中心とした保全に関する調査や研究、植物体や種子、情報の交換を通じて植物多様性の保全を推進するための協定が結ばれました。

これまでに当園は2度に渡り、クオリーヒル植物園と共同で調査を行っていますが、今後もより密接な協力関係のもと、植物の保全活動を推進します。 (倉重祐二)

NEWS 4

学校等の教育活動への支援

新潟県立植物園では、展示、育成している3,000種を超える植物を学習資源として活用し、楽しみながら植物の多様性を知り、生きた植物にふれることができる各種プログラムを備えています。

遠足、総合学習などで当園を訪れるみなさんの目的にあわせ、園内での時間を有意義に過ごすことができる植物クイズや学習シートを設置しているほか、ガイドツアー、自然素材をつかった工作や調査学習などへの対応が可能です。充実した学習活動に、ぜひ当園をご活用ください。

(林 寛子)

NEWS 5

レストランをリニューアル

4月上旬に温室内レストランをリニューアルオープンします。

レストラン内には売店コーナーを併設します。また、窓際にはカウンター席を新設。お一人様でもお気軽にご利用いただけます。

窓の外に広がる緑のパノラマを眺めながら、ゆっくりと流れる癒しの時間をお過ごし下さい。

新潟の植物になぜシャクナゲが?と思われる方も多いことでしょう。ここで取り上げるシャクナゲは、欧米で改良された大輪で華やかな西洋シャクナゲのことを指します。

日本に西洋シャクナゲが輸入されたのは明治39年、新潟に移入したのが大正時代とされます。昭和7年には新潟市の長尾氏が新品種を作出していることから、国内ではいち早く交配が行われたと考えられます。その後、同市で大量に増殖され、通信販売カタログに掲載される品種数も増加し、戦前のシャクナゲ人気の第一次ブームがおきました。

戦後には、鉢植えのシャクナゲ生産が始まり、本県のシャクナゲ鉢物生産量は日本一を誇るまでに増加しました。また、新潟市の木口氏が、それまで不可能とされていた遠縁種の交配によりコンパクトで華やかなミニシャクナゲを作出しました。また、五泉市の樋口氏や新潟市南区の石黒農園によって西洋シャクナゲの新品種が作出されるなど、育種面でも新潟県は大きな役割を果たしています。

大正以降現在までシャクナゲの生産や育種が行われ、生産量、品種の豊富さは全国一を誇る新潟県だからこそ、当園で4月にシャクナゲの展示が行われるのです。

(永井明子)

新潟の植物

西洋シャクナゲ



木口氏作出品種 '妖精'



樋口氏作出品種
'リージェント'



梅護寺の数珠掛桜(平成14年撮影 親木)

新潟の天然記念物

梅護寺の数珠掛桜

鎌倉時代の僧、親鸞の残した数々の伝説には植物に関連するものも多く、そのひとつ、梅護寺^{※1}の数珠掛桜は越後七不思議に数えられています。この桜は、八重咲きのサトザクラで、花房が10cm以上になり数珠の房のように垂れ下がって咲く特徴があります。

平成14年、指定木(昭和2年国指定)にならたけ病^{※2}の感染が見つかります。悪い根を切除するなどの治療が施されると同時に、県立加茂農林高等学校と新潟大学が共同で研究を行い、木への負担を配慮した組織培養による後継木の獲得が進められました。平成15年に培養を開始し、3年後には1mを超える苗木となり、平成19年には花をつけるに至りました。天然記念物の組織培養による増殖という試みは成功し、現在は、得られた若木のうち12本が後継木として梅護寺へ移されています。一方、親木は残念ながら衰弱が進み、後継木の生育を見守りながらその生命を終えようとしているということです。(林 寛子)

※1 阿賀野市小島

※2 根が侵される樹木の病気



育成中の後継木がつけた花



培養の様子

友の会通信

「新潟県立植物園 友の会」は平成16年3月に発足し、今年で6年目を迎えます。昨年は、会員数が189名（一昨年188名）と若干減少しましたが、佐渡への植物観察会をはじめ、植物観察会を4回、交流会を2回開催した他、今年から観察会の際に植物調査を行うなど、活発な活動を行っています。調査記録はまだまとまっていませんが、今後会の活動として報告を行う

〈今年度の活動予定〉

総会●5月4日（月・祝）

当日の「みどりの日」は「植物園の日」でもあります。植物園の日は、全国の植物園で組織される（社）日本植物園協会が定めたもので、各地で様々な行事が行なわれています。この日に役員決定や会の決算、今年の計画の立案などを行う他、シンポジウムなどを行います。

春の視察旅行●6～7月

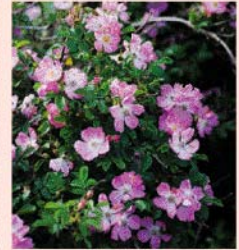
会員の顔合わせを兼ねた視察旅行です。場所は未定ですが、県内外の植物園や研究施設などを訪れます。

夏の植物観察会●8月

湯沢町へ一泊の植物観察会を行っています。宿泊先の和田小屋では、おいしい食事のほか、満点の星空が楽しめます。



ドンデン山の非難小屋前（佐渡植物観察会）



コハマナス（佐渡植物観察会）



ヒトツバカエデ（湯沢植物観察会）



雨の中の観察会（湯沢植物観察会）



写真記録状況（秋の植物観察会）



北野天満温泉前（秋の植物観察会）



アマタケ（キノコ観察会）



キノコの説明（キノコ観察会）

キノコ観察会と試食会●10月

植物園の秋まつりにあわせて、キノコ観察会とそれらを使った試食会を開催します。食べられないキノコの見分け方やキノコを見つけるポイントなども教わることができます。

秋の植物観察会●10月

石澤会長の故郷である長野県栄村を中心に一泊の植物観察会を行っています。秋の紅葉の絶頂期であるだけでなく、キノコなどの味覚も盛りだくさんです。

クリスマス交流会●12月

植物園のクリスマスイベントに合わせて交流会を行います。植物交換会やその年の活動報告を行うほか、最後にクリスマスコンサートを聴きに行きます。今年度も更なる活動を期待しておりますので、よろしく願いいたします。

新潟県立植物園
友の会
会員募集

友の会会員を常時募集しておりますので、植物園までお問い合わせください。

会員特典

- 観賞温室入館料無料
- 植物園だより、友の会ニュースレター、各種イベント案内の送付
- 研修旅行、企画旅行などイベントへの参加

年会費※

- 個人会員 2,000円
- ファミリー会員 2,500円
（同居の家族は何人でもご利用できます）
- 賛助会員 一口 10,000円

※4月より翌年3月まで

展示

観賞温室第2室 企画展示

- 4月5日(日)まで 「チューリップ展」
- 4月8日(水)～5月24日(日) 「シャクナゲ・ツツジ展」
- 5月27日(水)～6月28日(日) 「絶滅危惧植物展」

観賞温室第3室 住宅内展示

- 4月19日(日)まで 「チューリップ花絵原画展」
- 4月21日(火)～5月6日(水) 「丸山フキ花のちぎり絵」

特別展示

- 4月3日(金)～5日(日) 「春の大つばき展」
新潟県つばき協会・県立植物園共催 会場:花と緑の情報センター
- 4月29日(水)～5月6日(水) 「えちご長岡山野草展」
出展:小国山野草会 会場:観賞温室第3室

イベント

春の植物園まつり●5月4日(祝・月)、5日(祝・火)

- ・バックヤードツアー
- ・植物素材を使った体験教室
- ・チューリップ掘り取り体験
- ・食のテント など
- ・ミラクルフルーツ試食会
- ・ツリークライミング体験会
- ・園芸市

にいつ花ふるフェスタ●6月7日(日)

- ・にいつ食の陣当日座
- ・花ふるロールケーキ作り
- ・音楽イベント など

わくわく植物探検ツアー

案内員が熱帯植物ドームの植物をわかりやすくご説明します。解説付きの見学は満足度倍増!ツアーに参加された方には記念写真のプレゼントもあります。

- ①10:40～ ②14:40～
- (土・日・祝日は13:40からも実施)
- ※当日温室入館券売場にて受付(定員制)

また、ご自分のペースで解説付きの見学をお楽しみになりたい方には、携帯音楽プレーヤーiPodを使った展示解説「seedPod(シードポッド)」もご用意しています。温室の入館券売場でプレーヤーを貸し出ししていますので、ぜひ一度お試しください。(無料・身分証明書必要)

花と緑の相談コーナー

専門相談員の片山芳宣先生がわかりやすくお答えします。

- ・相談受付日:毎週水曜、日曜
- ・ご相談は直接相談コーナーへ。(観賞温室内無料エリア)
- ・電話でも受け付けています。専用電話 0250-24-6437

●観賞温室利用案内

開館/9:30～16:30(入館締切16:00)
入館料/大人600円、シルバー(65歳以上)500円、小中学生100円
※土日祝日は小中学生の入館料無料です。

●観賞温室開館カレンダー(●休館日)

4							5							6						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
●	●	●	1	2	3	4	●	●	●	●	●	1	2	●	1	2	3	4	5	6
5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13
12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20
19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27
26	27	28	29	30	●	●	24	25	26	27	28	29	30	28	29	30	●	●	●	●

●交通アクセス ※駐車場無料(350台収容)

高速道路/磐越自動車道新津ICから国道403号三条・加茂方面へ約15分
一般道路/(新潟方面から)国道49号茅野山ICから国道403号経由約20分
J R/信越線古津駅から徒歩約20分
バス/区バス:新津駅東口から「うららこすど」行き「美術館・植物園前」下車徒歩約1分
新潟交通:新津駅東口から「矢代田」経由白根・潟東営業所行き「新津美術館入口」下車徒歩約10分

教室

花と緑の教室 会場(または集合場所):花と緑の情報センター

※要申込(開催日の1カ月前から電話受付)

- 4月5日(日) 10:00～12:00 ●「ツバキ 花後の管理」
講師:石井たき(新潟県つばき協会) 定員:30名 参加費:無料
- 4月16日(木) 10:00～11:30 ●「雑草観察会①」
講師:田中良明(県立植物園職員) 定員:15名 参加費:無料
- 4月26日(日) 10:00～12:00 ●「シャクナゲ・ツツジ鑑賞会」
講師:倉重祐二(県立植物園副園長) 定員:15名 参加費:無料(要入館券)
- 5月6日(水) 10:00～11:30 ●「ボタン鑑賞会」
講師:田中良明(県立植物園職員) 定員:15名 参加費:無料
- 5月9日(土) 10:00～11:30 ●「母の日アレンジメント」
講師:未定 定員:20名 参加費:有料
- 5月17日(日) 10:00～11:30 ●「シリーズ『家庭菜園』春の作業・苗選び」
講師:田中良明(県立植物園職員) 定員:20名 参加費:無料
- 5月24日(日) 10:00～11:30 ●「バラ① 春夏の管理」
講師:佐藤七郎(新潟ばら会副会長) 定員:30名 参加費:無料
- 5月30日(土) 10:00～11:30 ●「チューリップ掘り取り体験」
講師:永井明子(県立植物園職員) 定員:親子20組 参加費:無料
- 5月31日(日) 10:00～11:30 ●「クレマチス」
講師:鈴木光一(日本クレマチス協会会員) 定員:15名 参加費:無料
- 6月11日(木) 10:00～11:30 ●「雑草観察会②」
講師:県立植物園職員 定員:15名 参加費:無料
- 6月14日(日) 10:00～11:30 ●「シリーズ『家庭菜園』夏野菜の管理・誘引や芽かき」
講師:田中良明(県立植物園職員) 定員:20名 参加費:無料
- 6月21日(日) 10:00～11:30 ●「マツの剪定」
講師:田中良明(県立植物園職員) 定員:10名 参加費:無料
- 6月25日(木) 10:00～11:30 ●「マツの剪定」
講師:田中良明(県立植物園職員) 定員:10名 参加費:無料
- 6月28日(日) 10:00～11:30 ●「山野草の寄せ植え」
講師:片岡充(片岡笑幸園) 定員:20名 参加費:無料

図書のご案内 ※温室入館券売場にて販売しています。



「里山の植物」
2,000円
新津丘陵に植生する植物の大図鑑。約800種の豊富な里山の植物の魅力を再発見。



「ようこそ緑の夢王国 新潟県立植物園」
1,200円
新潟日報夕刊に連載された内容をまとめた一冊。植物に親しむきっかけに、植物園観賞のお供にぜひいかがですか。



新潟県立植物園

〒956-0845 新潟市秋葉区金津186番地
TEL.0250-24-6465 FAX.0250-24-6410
Eメール botanical@greenery-niigata.or.jp
ホームページ http://botanical.greenery-niigata.or.jp/
指定管理者 財団法人 新潟県都市緑花センター

